

## 計画の実現に向けて

子どもたちの本との出会いを豊かなものにするためには、子どもに本を手渡す人がいる環境や子ども自身が本を手にとることのできる環境をより充実させることが大切です。

これまで行ってきた推進計画を更に発展的なものにするよう、また、子どもが自ら考え自立し、豊かな人間性を持って次代を担う大人に成長することを願い、第三次計画を策定しました。

この計画では、子どもの読書活動の推進状況を概観できる指標を使って、以下のとおり数値目標を設定します。この計画を推進するために関係機関や関係団体等による「東近江市子ども読書推進委員会」を設置します。

### ●東近江市子ども読書推進計画における指標

指標名		第1次計画 策定時 (平成19年度)	第2次計画 策定時 (平成24年度)	現 状 (年度)	目 標 (平成34年度)
学校図書館図書標準(学校図書館に整備すべき蔵書の標準)に達している学校の数	小学校	—	5/22校	14/22校 (平成28年度)	22校全校
	中学校	—	1/9校	5/9校 (平成28年度)	9校全校
学校司書を定期的に派遣している学校の数	小学校	0/23校	12/22校	22/22校 (平成29年度)	22校全校
	中学校	0/9校	2/9校	5/9校 (平成29年度)	9校全校
全校で定期的な読書活動を実施している学校の数	小学校	14/23校	22/22校	22/22校 (平成29年5月)	22校全校
	中学校	5/9校	9/9校	8/9校 (平成29年5月)	9校全校
読書活動においてボランティアと協力している学校、園の数	認定こども園 保育園 幼稚園	18/40園	34/40園	20/31園 (平成29年度)	30園全園 (平成30年度予定数)
	小学校	21/23校	19/22校	22/22校 (平成29年度)	22校全校
	中学校	2/9校	2/9校	3/9校 (平成29年度)	9校全校
市立図書館と連携を実施している学校、園の数	認定こども園 保育園 幼稚園	31/40園	40/40園	31/31園 (平成29年度)	30園全園 (平成30年度予定数)
	小学校	20/23校	22/22校	22/22校 (平成29年度)	22校全校
	中学校	5/9校	5/9校	7/9校 (平成29年度)	9校全校
1箇月間に1冊以上本を読んだ児童生徒の割合	小学校	—	96.9%	97.9% (平成29年5月)	100%
	中学校	—	89.9%	89% (平成29年5月)	95%
1箇月間の児童、生徒の読書冊数	小学校	—	—	7.9冊 (平成29年5月)	10冊
	中学校	—	—	2.7冊 (平成29年5月)	5冊
市立図書館での児童図書の年間貸出冊数 (12歳以下の子ども一人当たり)		23冊	27冊	26冊 (平成28年度)	30冊
市立図書館での児童図書の蔵書冊数 (12歳以下の子ども一人当たり)		15冊	17冊	19冊 (平成28年度)	20冊

\*このリーフレットは概要版です。本編の冊子は、市立図書館や教育委員会生涯学習課に置いています。また、市のホームページに掲載しています。

<https://www.city.higashiomi.shiga.jp/cmsfiles/contents/0000008/8682/kodomodokusyo3.pdf>

# 東近江市子ども読書活動推進計画 第3次計画

平成30年度(2018年度)～平成34年度(2022年度)

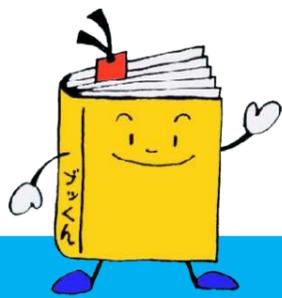
## 概要版



人と人、人と自然との豊かな出会いと読書で生きる力を育む

～ いつも手元に読みかけの本を ～

東近江市教育委員会



## I 子どもと本を確かにつなぐ学校、園づくり

### 1 子どもと本を確かにつなぎ、学びを広げる学校

学校は、魅力のある本がたくさんあり、子どもと本をつなぐ学校図書館を運営します。

#### ●心に栄養を与え、学びを広げる読書活動

学校は読書活動を充実させることで、本を読むことの楽しさや有用性を知り、自ら本に親しむ子どもを育てます。そのために学校の先生は学校司書と連携しながら指導の工夫をし、生涯にわたる読書習慣の素地を養います。

#### ●魅力のある蔵書

子どもの「読みたい」「知りたい」という多様な要求に応えるような魅力のある蔵書にします。「学校図書館標準」を目標に、各校の蔵書の充実にも努め、今後の学習ニーズに合った計画的な蔵書の更新をすすめます。

#### ●本の専門家がいる学校図書館

学校図書館は司書教諭や学校司書がいることによって専門的な運営がなされ、魅力のある場所になります。子どもと本をつなぐ学校司書の配置を今後も計画的にすすめます。

#### ●市立図書館とつながる学校づくり

学校の先生は、読書指導や調べ学習の機会を充実させることで、子どもの興味を引き出し、学習意欲を高めます。そのため、市立図書館との連携をすすめるとともに、研修を重ね、読書に対する理解を深めます。



### 2 子どもと本を確かにつなぐ園づくり

園は、本を通して人がつながる読書活動をすすめます。

#### ●先生と本と笑顔の子ども

園の先生は、絵本の読み語りやおはなしを通じ、子どもの笑顔や豊かな心を引き出します。そのため、先生は、市立図書館との連携を深め、進んで研修をします。

また、各園の園文庫・絵本コーナーの蔵書の充実や子どもと保護者がいつでも本を手にとることができる工夫を行い、園児の豊かな読書環境づくりをすすめます。

#### ●本でつながる人がいっぱい

PTA活動や自主的なサークル活動等を通して園と家庭がつながり合い、共に学びながら子どもの読書活動を進めるように努めます。

園の先生は園で読み語りや日常的に行われるように、保護者や市立図書館、地域の方々の協力を求めながら読書環境の充実を図ります。



## II 本のある家庭づくり、まちづくり

### 1 家庭、地域とつながる市立図書館

市立図書館は、本とともに子どもと大人が育つまちづくりをめざし、家庭や学校、園、地域を支援します。

#### ●本でうろう家庭

家庭は、子どもが読書に親しみ、生涯にわたる読書習慣を身につけるために大切な役割を担っています。子どもは親子で絵本を楽しむひとときや家族の読書習慣で、自然に読書のよさを知ります。市立図書館や学校、園は、子どもも大人も読書を通して育ち合う家庭づくりを支援します。

#### ●子どもの居場所としての市立図書館

市立図書館は、子ども読書活動推進の中心的な役割を担い、温かい居場所づくりをすすめます。

司書は、子どもと本の架け橋としてその専門性を生かし、子どもの読みたい、知りたいという気持ちが高まる蔵書と環境整備をすすめます。学校・園や地域との連携をすすめ、先生やボランティアを支援します。



### 2 地域で育む読書活動

地域には、子どもと本をつなぐよりよい場所があり、子どもが豊かに育つことを願う人が本でつながるまちづくりを推進します。

地域には、市立図書館をはじめ、学童保育所、児童館、子育て支援施設、コミュニティセンター等、子どもたちの居場所があります。

地域の拠点であるコミュニティセンターでは、様々な世代が本に親しむ機会を創る必要があります。

子育て支援センターは、つどいの広場等の事業があり、市立図書館と協力しながら読書活動をすすめています。

市内のボランティアは、図書館や学校、園で読み語り等を実施しています。

また、平成29年度(2017年度)から市内全小中学校に配置され、学校の支援に携わる地域コーディネーターは読み語りのボランティアと連携を図りながら、本と子どもを結ぶ取組を進めます。

